

平成26年度 信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための学生への短期海外活動支援採択プログラム 実績一覧

No	学部	プログラム名/概要 (プログラム名をクリックすると、「実績状況及び成果」が表示されます)	プログラム実施期間			研修先	地域区分	参加学生数	支援学生数	支援額 (1人当り) 単位:千円	支援総額 単位:千円
			出国	帰国	現地活動期間(日間)						
【第一次採択プログラム】											
①	医学部	夏期海外研修オーストラリア・カーティン大学(Curtin University)夏期海外単位認定プログラム									
		平成12年から実施。医療コミュニケーション英語を中心とした英会話力の育成プログラムに加え、各専攻の講義・実習に学際的に参加し、オーストラリアの医療専門教育を体験。また、各種病院、医療機関や福祉施設などの見学もコースワークに含まれている。ホームステイにより、現地での生活を体験しながら自ら英語を活用する機会を増やしている。また、ホストファミリー、カーティン大学学生やパース市民との交流や異文化体験により、今後の学生生活や将来のキャリア形成に向けてグローバルな視点を持つ機会となっている。	2014/8/8	2014/8/31	21	オーストラリア	乙	17	3	60千円	180千円
②	医学部	夏期海外研修ネパール保健医療スタディツアー									
		ネパールの保健・医療現場の見学及び日本人とネパール人により運営実施されているNGO活動の見学や体験から、開発途上国の保健医療の現状を理解し、将来国際保健・医療を担うことのイメージを広げる。平成22年より開始。	2014/8/17	2014/8/24	5	ネパール	丙	5	5	50千円	250千円
③	医学部	夏期海外研修シンガポール保健医療スタディツアー									
		学術交流協定締結先の病院において、シンガポールの保健・医療現場、教育施設を見学・体験することにより、アジア先進国の保健医療の現状を理解し、将来国際保健・医療を担うことのイメージを広げる新規プログラム。医学部保健学科夏期海外研修プログラムの一つとして位置づけ開始。臨床見学ならびにシミュレーション教育などを体験する。	2014/8/22	2014/9/1	9	シンガポール	指定都市	7	7	70千円	490千円
④	国際交流センター	信州大学 オーストラリア・ニューカッスル大学研修									
		英語によるコミュニケーション力及び異文化理解力を向上させることを目的に、オーストラリア・ニューカッスル大学附属英語学校での英語クラス受講、ホームステイを体験する。当研修を通じ、派遣学生が自信をつけ、今後、より長期留学への意欲を向上させることを狙いとする。また、グローバル人材としての資質と能力について考える機会とする。	2014/8/23	2014/9/14	21	オーストラリア	乙	22	22	60千円	1,320千円
⑤	国際交流センター	カリフォルニア地域産業と英語研修プログラム									
		交流協定校であるカリフォルニア州立大学チコ校と共同で企画・実施する。英語クラスに加え、専門家による現地地域産業の講義、大学の農場、農業関連企業での実地研修を組み合わせた内容。	2014/9/1	2014/9/22	19	アメリカ	甲	16	6	70千円	420千円
⑥	工学部	グローバルエンジニア育成のためのマレーシア大学工学部ラボラトリー研修プログラム									
		学術交流協定校マレーシア・マレーシア大学で、専門的な講義と実習を体験する3週間。大学で実際に行われる英語での授業、実習、実験、大学生活等を体験する「留学シミュレーション」をすることで、参加者を中長期の留学派遣、国際的な研究者の輩出に導くことを目指す。信州大学の学生がグループで訪問交流し授業、実習、実験に参加するのは初の試みである。工学系各学科との交流を通じて、学生・教員同士の友好関係を形成し、さまざまな分野での学生・研究者交流や国際共同研究に繋げる。	2014/9/3	2014/9/25	21	マレーシア	乙	10	3	60千円	180千円

平成26年度 信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための学生への短期海外活動支援採択プログラム 実績一覧

No	学部	プログラム名/概要 (プログラム名をクリックすると、「実績状況及び成果」が表示されます)	プログラム実施期間			研修先	地域区分	参加学生数	支援学生数	支援額 (1人当り) 単位:千円	支援総額 単位:千円		
			出国	帰国	現地活動 期間(日間)								
⑦ (※1)	教育学部	健康教育のグローバル人材養成プロジェクト～信州から世界の子どもに健康を～											
		2009年度より、ラオス教育省の公式なモデルプロジェクトである健康教育の質的向上のための人材養成のプロジェクト(教員研修および現地のフィールド研究)に、学生を参画させる。学校見学、医療施設の見学、村落見学などのほか、麻薬やアヘン等の違法薬物の使用に関する予防教育の実践、教員養成校およびその周辺校での健康診断活動に参画する。	2014/9/10	2014/9/24	14	ラオス	乙	5	5	60千円	300千円		
⑧	農学部	農業・食糧分野における国際協力で活躍出来るグローバル人材の育成											
		信州大学農学部と学術交流協定を結んでいるネパール国内研究施設において実施。専門知識と技術を活かし、将来、国際協力分野で活躍するグローバル人材の育成を目指す。	2014/9/14	2014/9/27	12	ネパール	丙	10	3	50千円	150千円		
⑨	繊維学部・工学部	信州大学・小諸市産学官連携協議会事業による海外インターンシップ											
		H25年度に引き続き、信州大学・小諸市産学官連携協議会が実施。ベトナムにおける日本をはじめ欧米各国企業の活動状況、ベトナム国策による大規模工業団地の建設に伴って将に新しい街が築かれつつある現場等を体験し学習することが狙い。	2014/9/15	2014/9/19	5	ベトナム	乙	10	7	60千円	420千円		
(※1)	平成26年7月31日(木)の国際交流連絡調整会議での審議(メール審議)を経て、当初7名への支援を決定したが、そのうちの2名が経済的理由により辞退することになった旨の通知を8月28日付文書で教育学部より受けた。このため、支援学生数は全体で63名から61名に、支援総額は3,830千円から3,710千円に変更となった。						第一次採択プログラム計			102	61		3,710千円

【第二次採択プログラム】

⑩ (※3)	理学部	ヒマラヤ横断フィールドワーク										
		ゴンドワナ地質環境研究所・ネパールトリブバン大学地質教室共催「ヒマラヤ野外ツアー」に参加し、ヒマラヤ山脈の成り立ちについて学習する。このツアーでは、中央ネパールのヒマラヤ山脈を徒歩9日間をかけて横断し、巨大山脈の形成の歴史とメカニズムを理解する。	2015/3/5	2015/3/19	14	ネパール	丙	10	10	50千円	500千円	
⑪	国際交流センター	ベトナムFPT大学 ビジネス英語及びインターンシップ・プログラム										
		交流協定校であり、ベトナム国内IT産業界最大手グローバル企業のFPT社が設立したFPT大学と協同実施する、信州大学全学部生及び大学院生を対象とした約3週間の英語研修及びインターンシップ・プログラム。当プログラム参加学生は、英語ネイティブ講師による授業の中で、プレゼンテーションやディスカッション等ビジネス現場において求められるスキルを高めることを主な目的として英語を学び、プログラム最後の2日間でインターンシップを行うことにより、実践力を身に付ける機会を持つ。	2015/2/26	2015/3/22	23	ベトナム	乙	14	2	60千円	120千円	

平成26年度 信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための学生への短期海外活動支援採択プログラム 実績一覧

No	学部	プログラム名/概要 (プログラム名をクリックすると、「実績状況及び成果」が表示されます)	プログラム実施期間			研修先	地域区分	参加学生数	支援学生数	支援額 (1人当り) 単位:千円	支援総額 単位:千円
			出国	帰国	現地活動期間(日間)						
⑫	全学教育機構	ドイツ環境ゼミ:環境マインドをもったグローバル人材育成のためのドイツ視察研修旅行(語学研修+環境関連視察) ドイツ語を学習中の学生を対象に、ドイツにおいて3週間の研修(2週間の語学コース+1週間の環境施設等の視察研修)を行う授業「ドイツ環境ゼミ」(集中講義)を、昨年度に引き続き開講する。当プログラムは、2007年度より毎年行ってきた「短期ドイツ語研修旅行(全学機構長裁量経費、ならびに2012年度はグローバル人材派遣事業費)」の延長上にあり、信州大学が目指す「グローバル人材」の育成および「環境マインド」育成の両面を推進するものである。後半1週間は全員での団体視察を中心として、後半の数日を、個人テーマに即した個人視察としている。	2015/2/14	2015/3/9	21	ドイツ	甲	8	8	70 千円	560 千円
⑬	全学教育機構	マレーシア、サラワク州での農山村調査法実践演習プログラム 本プログラムは、平成26年度後期に共通教育(教養科目)において開講する「環境マインドを現場で体験するゼミ(熱帯雨林)」において実施する。教養の講義科目である「熱帯雨林と社会」のアドバンスト・プログラムとして今年度新規に企画した。スタディツアー先はマレーシア、サラワク州である。本プログラムでは、引率教員と日本人助手(国際環境NGOスタッフ)が全日程学生と同行し、現地では現地人助手に補助を頼んでいる。参加学生と寝食を共にしながら、彼らの人間的成長を促すようサポートしていきたい。	2015/3/1	2015/3/9	7	マレーシア	乙	10	10	60 千円	600 千円
⑭	経済学部	ハワイ大学研修(信州大学経済学部) 経済学部と学部間協定のあるハワイ大学(マノア)校で研修プログラムを実施し、アメリカ(ハワイ)社会、多文化共生、環境問題や雇用創出などの地域社会の課題について学習する。研修実施は、アジア太平洋研究科(School of Pacific and Asian Studies)のハワイ短期滞在プログラムを利用する。短期滞在プログラムには、専門のコーディネーターがおり、授業とフィールドトリップで構成される。ハワイ大学教員が英語で行う授業は、ディスカッションを中心とする参加型の授業であるため、十分な事前学習を行う。	2015/2/12	2015/2/28	15	アメリカ	甲	15	3	70 千円	210 千円
⑮ (※2)	理学部	Kasetsart-信州理学部卒業研究発表会 本プログラムでは、信州大学理学部の4年次の学生がタイ王国Kasetsart大学を訪問し、卒業研究の内容について発表を行う。その後、Kasetsart大学と信州大学の学生で研究内容について議論する機会を持つ。	2015/3/9	2015/3/13	3	タイ	乙	9	9	60 千円	540 千円
⑯	教育学部	グローバル人材育成のための北欧教育視察プログラム 我が国では、グローバル人材育成の必要性が訴えられながらも、将来教員になる学生たちにグローバルな視野をもった教育実践に触れさせる機会の提供が十分にされていない状況がある。そこで本申請では、将来長野県の教員になる学生を対象に、スウェーデンの学校(幼稚園、小学校、中学校段階にあたる)を訪問するプログラムを企画した。北欧は新しい学力観における先導的な地域であり、特にスウェーデンは、世界的にも最先端の創造的な実践に取り組んでいる学校が全国で数多く運営されている。そのような学校を見学し、実際に教師や子どもたちと一緒に一日を過ごすことで、日本の未来の学校や教師の役割について考える機会を提供したい。	2015/2/27	2015/3/8	7	スウェーデン	甲	5	5	70 千円	350 千円
(※2) (※3)	平成26年11月26日(木)の国際交流連絡調整会議での審議(メール審議)を経て、「Kasetsart-信州理学部卒業研究発表会」については当初10名への支援を決定したが、そのうち1名が体調不良により辞退することになった旨の通知を12月16日付文書で理学部より受けた。このため、支援学生数は全体で48名から47名に、支援総額は2,940千円から2,880千円に変更となった。 「ヒマラヤ横断フィールドワーク」について、2月9日付文書にてスケジュール確定のため帰国日が3/17から3/19に変更となる旨連絡があった。この変更による支給額の増減は無し。		第二次採択プログラム計					71	47		2,880 千円
		平成26年度合計						173	108		6,590 千円